

令和5年度 昆虫採集クラブ活動記録

第6回例会の内容

2023年9月16日（土）晴れ 28℃

今回の例会は、「テントウムシの話」でした。テントウムシの仲間の分類や特徴、生息場所についてスライドでお話ししました。

スライドの後は園内で採集を行いました。採集コースは主園路からPICNIC FIELDとビクトリアエリア花壇周辺を回り、WANPAKU FIELD、IWAYAMA LABで採集しました。天気予報は雨でしたが、採集中は晴れて良かったです。

PICNIC FIELDでは、様々な種類のトンボの他、オオアメンボ、ミズカマキリ等の水生昆虫が捕れていました。



アジアイトトンボ



サナエトンボの一種



ミズカマキリ



オオアメンボ

ビクトリアエリア^{かだんしゅうへん}花壇^{まいとし}周辺では、毎年オオカマキリが多く^と捕れていましたが、^{ことし}今年は少なかつた^{いんしょう}印象です。

WANPAKU FIELD^{わ ん ぱ く}の^{フィールド}草地^{そうち}では、オオカマキリ^{せいちゅう}の成虫^{ぜんかい れいかい}がたくさん見られました。前回の例会^{くら}と比べると^{すず}涼しくなったせいか、コオロギ^{かす}の数が少なく^{かん}感じました。また、オオカマキリ^{たまご}の卵^{かんさつ}も観察^{で き}出来ました。

他にも、トノサマバッタやアオフキバッタやコバネイナゴ、ヒメクサキリが見られました。



オオカマキリの卵



オオカマキリ



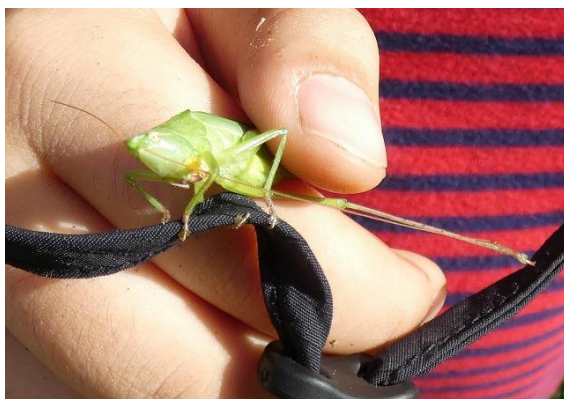
エンマコオロギ（左メス 右オス）



トノサマバッタ（褐色タイプ）



アオフキバッタ



ヒメクサキリ

イWAYAMA LABの池では、数種類のトンボが飛び交い、オオルリボシヤンマやタカネトンボを捕

まえるのにみんなで池を取り囲んで大盛り上がりでした。

最後に、ZOOMOBASEに戻り、今年作成した標本を見せ合いました。



オオルリボシヤンマ



タカネトンボ

その他の昆虫たち



アカスジキンカメムシの幼虫



イシダアワフキ



イトトンボ類のヤゴ



オオカマキリ



オオルリボシヤンマ?のヤゴ



カメムシの一種



キイロテントウの幼虫



コバネイナゴ



マユタテアカネ



スジクワガタ



セイヨウミツバチ



センチコガネ



ナツアカネ



ナミテントウ（二紋型）



メスグロヒョウモン



ヒシバッタ（長翅型）

今年作成した標本



